

回 覧	部(支所)長	課 長	担 当

## R3年 県病害虫・雑草防除基準の新規採用薬剤

本年もよろしくお願いいたします。今回は令和3年長崎県病害虫防除基準・雑草防除基準新規採用薬剤と製造中止などの理由で削除になった薬剤をまとめております。今後のご指導の中で、ご活用いただければ幸いです。

### 【病害虫薬剤】

#### 1. 《 新規有効成分含有剤 》

(1) 製品名「ブーン箱粒剤（水稻育苗箱施用薬剤）」

（成分名：シクロベンチアソクス粒剤 2.0%[IRAC-未定]）

本剤は、「稲」のいもち病などの病害に対して有効として新規に採用される。単剤での販売ではなく、他の殺虫・殺菌剤成分との混合箱施薬剤として、販売が開始される。

～作用機作・特長～

◎植物体が本来備えている病害抵抗性を増強させる作用を有する（抵抗性誘導）。

◎いもち病に対して高い防除効果と長い残効性を有し、白葉枯病、もみ枯細菌病などの幅広い病害にも効果を示す。

◎水稻に対して安全性が高く、播種時から移植当日まで様々な場面での使用が可能。

◎商品は他の殺虫殺菌剤成分との組み合わせで発売され、商品名：ブーンゼクテラ箱粒剤、ブーンレパード箱粒剤、ブーンパディート箱粒剤がある。



(2) 製品名「ヨーバルフロアブル」

（成分名：テトラニリプロールフロアブル 18.2%[IRAC-28]）

本剤は、大豆・果菜類・葉菜類・果樹・茶等の鱗翅目類、アブラムシ類、シンクイムシ類、ネキリムシ類、ハモグリバエ類等の多様な害虫の防除薬剤として幅広く新規に採用される。

◎新規のジアミド剤で鱗翅目以外の害虫にも有効。

◎浸透性を有しており、耐雨性に優れるため、害虫によっては2週間程度の残効がみられる。

◎ミツバチ、マルハナバチに対して散布で14日、灌注で1日の影響がある。各種天敵には影響が少なく、ミヤコカブリダニ、チリカブリダニ、スワルスキーカブリダニ、ククメリスカブリダニなど直接散布（タバコカスミカメについては接触法）で死亡率30%以下と影響は小さい。



私たちJAグループは“無登録農薬”は扱いません！

(3) 製品名「カナメフロアブル」

(成分名：インピルフルキサム 37%[FRAC-7])



本剤は、「なし」の赤星病・黒星病殺菌剤として新規採用される。(採用内容は要確認)  
 その他幅広い病害に防除効果を示し、中でも担子菌(リソクトニア病害、白絹病、さび病、赤星病等)  
 に対し高い効果を示します。

- ◎新規のSDHI剤で、浸達性・浸透移行性がある。医薬用外劇物。
- ◎多くの作物で収穫前日まで使用が可能。
- ◎セイヨウミツバチの他各種天敵のミヤコカブリダニ、チリカブリダニ、スワルスキーカブリダニなど影響は少ない。

2. 《 新規採用薬剤 》

(1) 製品名「ゴウケツパック」

(成分名：トルプロカルブ 20%粒剤 [FRAC-16.3])



本剤は、「水稲」の「いもち病」「もみ枯細菌病」の防除薬剤として新規採用された。

- ◎新規有効成分トルプロカルブを含有した殺菌剤。
- ◎イネいもち病に対して高い効果を示し、長い残効性が期待できる。
- ◎既存薬剤耐性菌にも有効である。
- ◎拡散スピードが速いパック剤で、稲が成長していても拡散不良が起きにくい。

(2) 製品名「エクシード粉剤DL」

(成分名：スルホキサフロル 0.5%粉剤 [IRAC-4C])

エクシード<sup>TM</sup>粉剤DL

Isoclast<sup>active</sup>

水稲用殺虫剤



本剤は、「水稲」の「セジロ・トビイロウンカ」の防除薬剤として、  
 新規に採用された。

- ◎水稲で問題となる斑点米カメムシ類、ウンカ類、ツマグロヨコバイに安定した効果を示します。
- ◎カスミカメムシ科、ホソハリカメムシ、クモハリカメムシ、ミナミアオカメムシなど各種斑点米カメムシ類に対し、優れた斑点米抑制効果を示します。
- ◎散布回数は3回まで、収穫7日前まで使用できます

(3) 製品名「カーニバル水和剤」

(成分名：ジメトモルフ 20% [FRAC-40]・TPN50%[FRAC-M05]水和剤)



本剤は、「ばれいしょ」の疫病防除薬剤として、新規に採用された。

- ◎幅広い殺菌スペクトラムを有する TPN と、ベと病、疫病に特異的な効果を発揮するジメトモルフの混合剤です。
- ◎浸達性を持つジメトモルフの含有により、ベと病、疫病に優れた予防効果と治療的効果を発揮します。
- ◎2つの異なる作用機作の有効成分を組み合わせることで、耐性菌の発達リスクが低いと考えられます。

## (4) 製品名「オロンディスウルトラ SC」



(成分名：オキサチアピプロリン 2.7%[FRAC-49]・  
マンジプロパミド 23%[FRAC-40]水和剤)



本剤は、「トマト」「ミニトマト」「たまねぎ」「ねぎ」の疫病防除薬剤として新規に採用された。

- ◎ ベと病・疫病の病原菌生活環のすべてのステージに高い活性をもつ「オキサチアピプロリン」と「マンジプロパミド」の2つの成分が、強力な効果を発揮します。
- ◎ 葉の裏側までしっかり防除する高い浸達性と新展開葉まで防除する優れた上方移行性で、植物をベと病・疫病から守ります。
- ◎ ワックス層に速やかに吸着し、散布 1 時間後の雨にも優れた耐雨性を発揮。安定した効果が持続します。

## (5) 製品名「シグナス JB・FL」



JB (成分名：テフリルトリオン 6.7%・フェントラザミド 10%・メタゾスフロロン 2%)  
FL (成分名：テフリルトリオン 4%・フェントラザミド 6%・メタゾスフロロン 1.2%)

本剤は、「水稲」の初中期除草剤として既に採用されている  
1 キロ粒剤に加えて、新規に採用された。

- ◎翌年の発生要因となる多年生雑草の地下部も抑える（コウキヤガラ、ホタルイ、クログワイ等）。
- ◎アゼナやコナギなど、SU 抵抗性雑草もしっかり枯らします。
- ◎ノビエの後発生も長期間防除します。◎直播水稲や WCS にも使えます。



## (6) 製品名「イッソウ 1 キロ粒剤」

(成分名：ピラクロニル 2%・モリネート 24%・テフリルトリオン 3%)

本剤は、「水稲」の中後期除草剤として新規に採用された。

- ◎高葉齢のノビエ（4.5 葉期まで）やホタルイ花茎 10cm まで高い効果を発揮します。
- ◎SU 抵抗性雑草および多年生難防除雑草まで幅広く優れた効果を示します。
- ◎従来の中後期除草剤と比べ、速効的な効果発現が認められます。
- ◎水稲に対する安全性が高く、幅広い散布時期を持ちます。



## (7) 製品名「パワーガイザー液剤」

(成分名：イマザモックスアンモニウム塩 0.85%液剤)

本剤は、「大豆」の除草薬剤として新規に採用された。




- ◎雑草が出てから散布できるため、散布時期を逃すことなく、余裕を持って効率的そして効果的に散布作業が行えます。
- ◎アサガオ、スカシタゴボウをはじめとする一年生広葉雑草の発生始期から 2 葉期までの処理で高い除草効果を示します。(効果発現から枯死まで、やや日数を要します)
- ◎有効成分であるイマザモックスアンモニウム塩は、一年生広葉雑草に対して低薬量で極めて高い活性を示します。

(8)製品名「ヒオモン水溶剤」

(成分名：1-ナフタレン酢酸ナトリウム 4.4%水溶剤)

本剤は、「なし」の落果防止剤「マデック乳剤」の代替剤として新規に採用された植物調整剤。



- ◎りんご、なしの収穫前の落果を短期間で抑えます。
- ◎果実が過熟になりにくく「ボケ」の心配がありません。

《 製品の製造・販売中止等により県基準より削除される剤 》

【マデック乳剤】…「なし」→代替剤【ヒオモン水溶剤】

【ゲットスター1 キロ粒剤】【テラガードL ジャンボ】【フォーマット 1 キロ粒剤 51】

【フルイニング 1 キロ粒剤】【ムソウジャンボ】【ライジンパワー1 キロ粒剤】…「水稻」

【アクチノール乳剤】…「水稻」「たまねぎ」→【アクチノールB乳剤】として新規登録

【スターナ粉剤 DL】…「水稻」

【スパットサイド水和剤】…「茶」

【ルミライト水和剤】…「いちじく」

《 製品の販売・使用実態がないため県基準より削除される剤 》

【フジワン乳剤・粒剤】【リンバー粒剤】【バシタック粉剤】…「水稻」

【アドマイヤー顆水・水和剤】【スミチオン粉剤 2DL】…「水稻」

\*2月号に記載されている内容はJA全農ながさきのホームページに掲載されています。

JA全農ながさきホームページURL：<http://www.ns.zennoh.or.jp>

JAグループ「安全防除運動」展開中

◎農産物の安全……今、消費者がもっとも願っている「食の安全」。

それは私たち生産者の願いでもあります。きちんとした農薬を選び、正しく使って、日誌に記録を残す。これを続けることが、消費者に信頼される農産物づくりにつながります。

- ・使うのは、もちろん登録農薬！
- ・安全使用・事故防止へ、ラベル確認を習慣に！
- ・使用後も、防除日誌で“安全証明”

◎環境の安全……土や水といった自然の恵みを利用して営まれている

農業。皆さんが守り続けてきた大切な田畑を、次の世代に残すためにも、自然環境に十分配慮した農薬散布を心がけましょう。

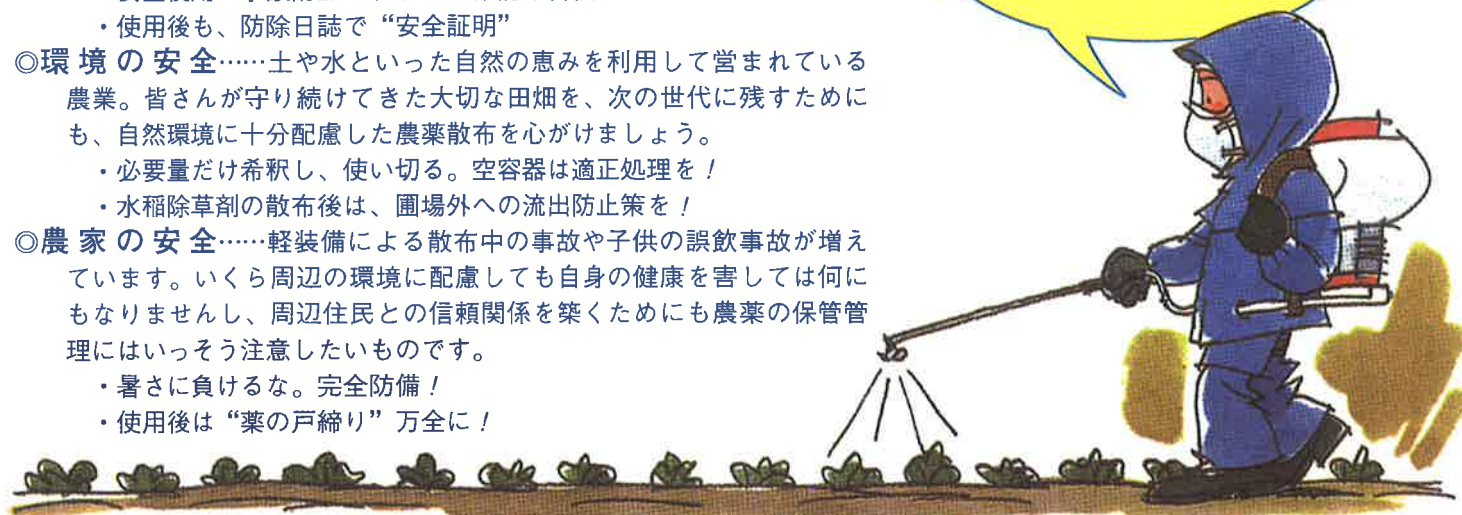
- ・必要量だけ希釈し、使い切る。空容器は適正処理を！
- ・水稻除草剤の散布後は、圃場外への流出防止策を！

◎農家の安全……軽装備による散布中の事故や子供の誤飲事故が増えています。

いくら周辺の環境に配慮しても自身の健康を害しては何にもなりませんし、周辺住民との信頼関係を築くためにも農薬の保管管理にはいっそう注意したいものです。

- ・暑さに負けるな。完全防備！
- ・使用後は“薬の戸締り”万全に！

散布するときは、  
マスク、メガネ、手袋を  
きちんと、つけましょう。



安全使用基準を守りましょう